

櫻井徳太郎先生

櫻井徳太郎先生を送る

安藤喜久雄

先生は昭和52年（1977年）4月、東京教育大学より本学に赴任され、爾来14年間にわたり本学のために多大な御尽力をされて来られ、平成3年3月、残念ながら定年退職されることになりました。

先生はこの間、昭和58年（1983年）4月から昭和61年（1986年）3月まで文学部長を務められ、その後本学初の公選学長に就任され、平成2年3月まで一期4年間学長職の重責を果されてきました。本学の民主化と学園の再構築という厳しい時期に学長という激職を完うされたことに深甚の謝意を表する次第であります。

第二次大戦直後、柳田国男との出会いによって先生の学問を大きく決定づけ、民俗学への道を歩まれたと聞いております。先生が民俗学者として令名が高いことは私も存じあげております。私自身先生の業績の内容について知悉しているわけではありませんが、現在著作集を刊行されているのをみても、これまで多大の業績をあげてこられたことをうかがい知ることができます。

先生の民間信仰からシャマニズムに至る一連の研究を瞥見すると、研究対象が多岐にわたっているように思えますが、その背後に宗教的なものに対する強い関心と情熱が絶えず寄せられているように思われます。先生の研究業績の足跡や先生自身との会話を通じて、永年にわたり各地に赴いて民俗調査を手がけ、実証的分析に心掛けてこられたことに気付くのであります。

公私両面とも先生と御一緒する機会は少なかつたのですが、たまの宴席で先生がツヤのあるお声で上手に民謡をうたい、軽やかに踊りをおどる場面を拝見したことがあります。故郷の新潟の民謡であったと思うが、民俗調査などに出向いた折に地元の人びとと飲みながら歓談しているときにしばしばおやりになっているのではないかと推察した次第であります。

先生は桜井民俗学を集大成することを目指しておられるものと拝察していますが、これから健康に十分留意されて研究を続けられ、桜井民俗学を集大成されることを期待するものであります。

履 歴

1916年 新潟県に出生

1944年 東京文理科大学史学科卒業

- 同 年 東京高等師範学校 助教授
 1946年 東京文理科大学 助手
 1953年 東京教育大学 助手
 1960年 東京教育大学文学部 助教授
 1974年 東京教育大学文学部 教授
 1977年 駒澤大学文学部 教授

業 績

著 書

1. 昔ばなし——日本人の心のふるさと——
 1957年3月 現代教養文庫153 社会思想社
2. 日本民間信仰論
 1958年5月 雄山閣出版
3. 講集団成立過程の研究
 1962年3月 吉川弘文館
4. 民間信仰
 1966年10月 塙選書56 塙書房
5. 貴族の世のなか
 1967年1月 少年少女・日本の歴史2 偕成社
6. 死霊の誘い——民俗学への招待——
 1967年7月 人物往来社
7. 神仏交渉史研究—民俗における文化接触の問題—
 1968年2月 吉川弘文館
8. 日本人の生と死
 1968年6月 民俗民芸双書30 岩崎美術社
9. 宗教と民俗学
 1969年4月 民俗民芸双書41 岩崎美術社

10. 季節の民俗

1969年11月 秀英出版

11. Japanese Festivals: Annual Rites and Observances. International Society for Educational Information Press, Tokyo, 1970.

12. 祭りと信仰——民俗学への招待——

1970年8月 新人物往来社

13. 日本民間信仰論（増訂版）

1970年10月 弘文堂

14. 民間信仰と現代社会——人間と呪術——

1971年8月 日本人の行動と思想9 評論社

15. 昔ばなし——日本人の心のふるさと——（改訂版）

1972年12月 塙新書44 塙書房

16. 沖縄のシャマニズム——民間巫女の生態と機能——

1973年7月 弘文堂

17. 日本のシャマニズム（上巻）——民間巫女の伝承と生態——

1974年11月 吉川弘文館

18. 靈魂観の系譜 ——歴史民俗学の視点——

1977年2月 筑摩書房

19. 日本のシャマニズム（下巻）——民間巫俗の構造と機能——

1977年3月 吉川弘文館

20. 日本民俗宗教論

1982年11月 春秋社

21. 結衆の原点——共同体の崩壊と再生——

1985年3月 弘文堂

22. 伝承の相貌——民俗学四〇年——

1986年 吉川弘文館

23. 祭りと信仰——民俗学への招待——

1987年 講談社

24. 靈魂觀の系譜——歴史民俗学の視点——

1988年 講談社

25. 桜井徳太郎著作集（全十巻・現在第九巻まで刊行）

吉川弘文館

共 著

1. 精粹日本史

1953年10月 向上社

2. 人間の交流

1965年 9月 日本の民俗 4 河出書房

3. 変身

1974年10月 ふおるく叢書 3 弘文堂

4. 寺社縁起

1975年 9月 日本思想大系20 岩波書店

5. 地獄と人間

1976年 9月 朝日新聞社

6. 津軽・下北の霊場

1982年 9月 日本の聖域11 佼成出版社

7. シャーマニズムとは何か——国際シンポジウム・南方シャーマニズム——

1983年12月 春秋社

8. 共同討議ハレ・ケ・ケガレ

1984年 3月 青土社

編 集

1. 詳解日本史史料集

1969年 3月 秀英出版

2. 熱海市史（資料編）

1972年 3月 熱海市役所

3. 山岳宗教と民間信仰の研究

1976年 6月 山岳宗教史研究叢書 6 名著出版

4. 信仰伝承

1976年 9月 日本民俗学講座 3 朝倉書店

5. 民間信仰の研究序説

1977年 3月 タケミ印刷

6. 日本宗教の複合的構造

1978年 7月 弘文堂

7. シャーマニズムの世界

1978年 9月 春秋社

8. 信仰

1979年 7月 講座日本の民俗 7 有精堂

9. 民間信仰辞典

1980年 12月 東京堂出版

10. 新潟県史資料編22民俗・文化財一民俗編 I

1982年 3月 新潟県

11. 地藏信仰

1983年 11月 民衆宗教史叢書 10 雄山閣出版

12. 新潟県史資料編22民俗・文化財一民俗編 II

1984年 3月 新潟県

13. 日本宗教の正統と異端——教団宗教と民俗宗教——

1988年 弘文堂

14. 日本民俗の伝統と創造——新民俗学の構想——

1988年 弘文堂